

自然を調査しよう

1 活動の概要

山道を歩きながら、興味をもった植物や動物、昆虫、景色など、子どもたちの視点で記録(写真など)を残す。また、その記録を基に図鑑等でそれらがどのようなものであるかを調べる。

2 活動のねらい

子どもたちの身近にある自然との違いを感じることで、自然本来の姿を知る。また、それによって実体験に基づいた知識の獲得を試みる。

3 準備するもの

- カメラ
- 雨合羽
- 虫除けスプレー・虫刺され・傷薬等
- 図鑑等



山道を散策する幼児

4 活動場所

危険がない程度の人道などが作られている山や森。

* 雨天時のルートも確保しておく

5 活動の展開

(1) 事前の活動

①探索活動（日常保育）

- ・自分の興味を持ったものを探す。
- ・見つけたものが何であるかを調べる。
- ・グループで一緒に探す。

②調査コースの設定

- ・安全かつ容易すぎないコースを設定する。
- ・雨天時のコースも設定しておく。
- ・危険な場所には大人が付く。



生きもの観察する幼児

(2) 調査活動

- ・出発前に意識を高めるためにグループ毎に話し合いをする。
- ・虫除けスプレーをする。
- ・グループ毎に子どもの興味・関心に併せたペースで山道を歩く。
- ・大人から教示的な声掛けはしない。
- ・子どもたちの視点で写真を撮る。
- ・水分補給、疲労等に配慮する。

(3) 事後活動

- ・写真を整理する。
- ・写真を基に、撮ったものについて図鑑等で調べる。
- ・写真の展示会等を開く。

6 子どもの活動と留意点

○安全面への配慮

山道での散策になるので、擦り傷や切り傷、虫刺され等への対応は不可欠。また、危険な場所などは事前の下調べで特定しておき、必要であれば大人を配置する。不測の事態に備えた連絡順なども、事前に周知しておく必要がある。

○子どもの興味を大切に

子どもたちの視点を重要視する。そのため、大人側からの教示や誘導は控える。また、活動時間は余裕を持って設定し、長い時間をかけて寄り道しながら山道を歩くよう心がける。

○印象に残ったことを掘り下げる

事後活動において、子どもの印象に残ったことを掘り下げ、引き出す。その際も、誘導的にはならず、子どもの持った印象や感覚を重視する。

7 活動の発展・応用

○施設で…生き物分布マップづくり、同じ葉っぱさがし 等

○園 で…写真を見せて感想発表会、周辺の自然調査 等